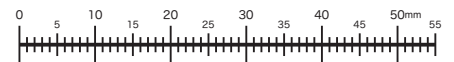


八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。 こっこめ通信072009 「探せばいるもんだ」号

6月10日に島の梅雨入りが発表されました。毎年どういう訳か梅雨入り発表後は降水量が少なく、今年も雨が少ない日が続いています。平年の梅雨明けが7月20日、降りすぎず、少なすぎずの梅雨になってほしいものです。そして、梅雨が明ければ台風の季節。なんだか一年中、天気のお話をしているような気がします。

さて、今回は、「八丈島産カミキリ図鑑」「定着？偶発？テングチョウ」のお話です。

八丈島産カミキリムシ図鑑



写真の右下はカミキリの大きさ。上のスケールで調べてみよう！



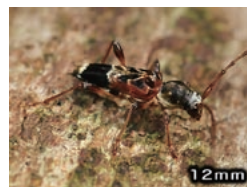
アトモンサビカミキリ



アトモンチビカミキリ



アマミキボシカミキリ



アラカワシロヘリトラカミキリ



イズクモノスモンサビカミキリ



イズシラホシカミキリ



イズチビトラカミキリ



イズトカラコブヒゲカミキリ



イズドイカミキリ



イズニセビロウドカミキリ



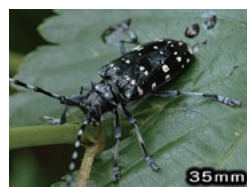
ウスバカミキリ



ケシカミキリ



クロコバナカミキリ



ゴマダラカミキリ



クロセンノカミキリ



ツシマナクボカミキリ



トラカミキリ



ナガゴマフカミキリ



ニホンチャイロヒメカミキリ



ハイロヤハズカミキリ



ハチジョウトカラヤハズカミキリ



ハチジョウトビロカミキリ



ハチジョウハネナシチビカミキリ



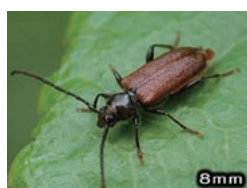
ハチジョウビロウドカミキリ



ハチジョウムネマダトラカミキリ



ハチジョウルリボシカミキリ



ヒメスギカミキリ



フタオビミドリトラカミキリ



リュウキュウヒメカミキリ



ヒメクロトラカミキリ

「アカコッコ」は日本固有のツグミ科の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

定着？偶発？テングチョウ

テングチョウはテングチョウ科に属する蝶で、下唇髭（パルピ）という鼻先の器官が長く伸びる特徴があります。この姿から天狗（テング）の名前がついています。翅の裏側は薄茶色で閉じた状態では枯れ葉のようにも見えます。表側は焦げ茶に赤茶色の斑があります。北海道から南西諸島まで広く分布する蝶ですが、島で確認されることはありませんでした。

ところが2007年7月に植物公園内で初めて記録され、その年はあまり見られることがなかったため偶発的な迷蝶とされていました。しかし、翌年から確認される場所や数が増えてきています。今年は越冬した個体が春先から多く見られたので、定着の可能性が大きくなってきました。

テングチョウはエノキの新芽に産卵し、幼虫はエノキの葉を食べて大きくなります。島の中にはたくさんエノキの木があり、テングチョウの数からして、産卵しているのではないかと思われました。そこで、エノキの木の近くで観察を続けた結果、産卵が確認できました。



エノキは落葉高木
産卵は小さなエノキの木が多いです



翅を広げたテングチョウ



産卵中



産み付けられた卵



2齢幼虫？

テングチョウが産卵する葉は小さなエノキのまだ展開していない新芽で、1個ずつ葉の間に生み付けます。卵の大きさは1mm以下、肉眼でやっと分かる大きさです。拡大してみると少し縦長でクリーム色、頂点から筋があるのが分かります。卵から孵ったばかりの幼虫の体は黒く、その後頭部以外はクリーム色になります。さらに大きくなるにつれて体の色は緑色に変わっていきます。3回(4回?)の脱皮後、終齢幼虫になり、最後の脱皮をして蛹になります。

今回、幼虫を採集して羽化まで飼育観察をしました。蛹化（幼虫から蛹に変わること）したのが6月14日、その後6月21日に無事に羽化しました。蛹の期間は7日間と短く、成長のスピードもとても速いように思えました。

基本的には年1回の発生ですが、島では2回目の発生もありそうな感じがしています。これから継続観察をしていきますが、テングチョウは偶発ではなく島に定着してしまったのかもしれない。



1齢幼虫?と3齢幼虫?



蛹(さなぎ)



前蛹(蛹になる前の段階)



終齢幼虫

八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きもので季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。今回は6月7日(13時30分～15時)に行いました。

八丈植物公園季節調査(平成21年第6回) 参加者: 菊池昭、黒田、茂手木、沖山、VC 菊池

NO.	和名 (島名)	状態	NO.	和名 (島名)	状態	NO.	和名 (島名)	状態
草本			36	ドクダミ	花と実	シダ植物		
1	アオカモジグサ	実	37	ナギナタガヤ	実	1	イシカグマ	
2	アオツツラフジ	咲き始め	38	ニラバラン	花と実	2	オオイタチシダ	
3	アオノクマタケラン	花が盛り	39	ネジバナ	咲き始め	3	オオタニワタリ	
4	アメリカスズメノヒエ	花	40	ハハコグサ	花と実	4	オニヤブソテツ	
5	イヌナギナタガヤ	実	41	ヒナギキョウ	花と実	5	カニクサ	孢子葉
6	イヌホオズキ	花と実	42	ヒメクグ	実	6	スギナ	
7	イワニガナ	花	43	ヒメコパンソウ	実	7	タチクラマゴケ	孢子葉
8	ウスベニニガナ	花	44	ヒメジョオン	花が盛り	8	タチシノブ	孢子葉
9	ウラジロチチコグサ	実	45	ヒメヨツバムグラ	実	9	タマシダ	
10	オオトキワツユクサ	花	46	ママコノシリヌグイ	花	10	ナチシケシダ	
11	オオニワゼキショウ	花と実	47	ミツバ	花	11	ノキシノブ	
12	オオバコ	実	48	ムラサキカタバミ	花	12	ハチジョウカナワラビ	
13	オニタビラコ	花と実	49	ヤブガラシ	蕾	13	ハチジョウシダ	
14	オランダミミナグサ	実				14	ハチジョウベニシダ	
15	カニツリグサ	実	木本			15	ヒトツバ	
16	カモジグサ	実	1	アカメガシワ	若い実	16	ホシダ	
17	キランソウ	花	2	イヌビワ	実	17	マツバラン	
18	キンゴジカ	花	3	オオシマザクラ	実が残る	18	マメツタ	
19	コケミズ	花と実	4	ガクアジサイ	花	19	ミゾシダ	
20	コケリンドウ	花	5	クワ sp.	実が残る	今回はシダ植物 19 種を含む、87 種の植物を観察しました。今年はヤマモモの当たり年のように非常にたくさんの実が着き、雌木の下では落ちた実が発酵してお酒のような臭いが漂っています。		
21	コナスビ	花と実	6	コウゾ	実			
22	コマツヨイグサ	花と実	7	タイミンタチバナ	若い実			
23	コモチマンネングサ	咲き残り	8	テイカカズラ	花			
24	サクユリ	蕾	9	トベラ	実			
25	シチトウスミレ	閉鎖花	10	ニフトコ	実: 初記録			
26	シマウチワドコロ	蕾	11	ハゼノキ	実			
27	シロバナマンテマ	実	12	ヒメユズリハ	若い実			
28	セイヨウタンポポ	花	13	ホウライカズラ	蕾			
29	タチスズメノヒエ	実	14	ホルトノキ	蕾			
30	チガヤ	実	15	モチノキ	実			
31	チチコグサ	実	16	モッコク	蕾			
32	チチコグサモドキ	実	17	ヤナギイチゴ	熟した実			
33	ツメクサ	花と実	18	ヤブニッケイ	花			
34	ツルマオ	花と実	19	ヤマモモ	実が残る			
35	トウバナ	花と実						

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、「ハチジョウトゲウスバカミキリ」にスポットを当ててみたいと思います。



ハチジョウトゲウスバカミキリ

Megopis formosana hachijoana

トゲウスバカミキリの亜種。八丈島の個体は前胸背板が黒褐色なことが特徴です。上翅は他の地域と同じく黄褐色、大型のカミキリムシで前胸背板に棘があるのですぐに見分けがつかます。

八丈富士側ではほとんど見られず、三原山側の燈火などで見ることができます。個体数はそれほど多くありません。

2009 7 八丈ビジターセンター プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。
左側が満潮時刻、右側が干潮時刻です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
	 この色の日 は 特別行事 があります		1 13 : 17 23 : 36 06 : 21 17 : 19	2 15 : 00 07 : 29 18 : 45	3 00 : 36 08 : 26 16 : 03 20 : 20	4 ガイドウォーク 01 : 39 09 : 12 16 : 45 21 : 28
5 ガイドウォーク 02 : 35 09 : 53 17 : 19 22 : 15	6 03 : 23 10 : 31 17 : 49 22 : 52	○ 小暑 7 04 : 04 11 : 06 18 : 17 23 : 24	8 04 : 43 11 : 40 18 : 44 23 : 55	9 05 : 20 12 : 13 19 : 10	10 05 : 56 00 : 26 19 : 35 12 : 44	11 ガイドウォーク 06 : 34 00 : 59 20 : 01 13 : 15
12 ガイドウォーク 植物公園 季節調査会 07 : 13 01 : 36 20 : 27 13 : 46	13 07 : 57 02 : 16 20 : 54 14 : 18	14 08 : 50 03 : 03 21 : 23 14 : 52	● 15 09 : 59 04 : 00 21 : 56 15 : 31	16 11 : 38 05 : 07 22 : 38 16 : 22	17 13 : 48 06 : 23 23 : 39 17 : 43	18 ガイドウォーク 15 : 26 07 : 36 19 : 44
19 ガイドウォーク 夏休み特別行事 「夜の昆虫観察会」 00 : 58 08 : 40 16 : 25 21 : 15	20 ガイドウォーク 02 : 13 09 : 36 17 : 09 22 : 11	21 03 : 17 10 : 27 17 : 48 22 : 56	● 22 04 : 13 11 : 13 18 : 23 23 : 37	大暑 23 05 : 05 11 : 57 18 : 55	24 05 : 56 00 : 16 19 : 24 12 : 38	25 ガイドウォーク 八丈学講座 「川の生きもの観察会」 06 : 46 00 : 57 19 : 51 13 : 15
26 ガイドウォーク 夏休み特別行事 「三原山縦断 トレッキング」 07 : 36 01 : 39 20 : 15 13 : 50	27 08 : 28 02 : 23 20 : 39 14 : 21	28 09 : 30 03 : 13 21 : 03 14 : 49	☾ 29 10 : 54 04 : 13 21 : 32 15 : 16	30 13 : 16 05 : 27 22 : 12 15 : 48	31 15 : 36 06 : 50 23 : 30 17 : 39	

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！
7 / 12 (13 : 30 ~ 約 1 時間半) 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 無料 定員 : 15 名

夏休み特別行事 「夜の昆虫観察会」

恒例の夜の昆虫観察会！植物公園内で夜に活動する昆虫を探して観察します。今年は何が出るかな？
7 / 19 (19 : 30 ~ 約 1 時間半) 小学生以上（低学年は保護者同伴）
ビジターセンター集合・解散 参加費 : 50 円 定員 : 20 名

八丈学講座 「川の生きもの観察会」

毎月行っている八丈学講座。今月は、鴨川周辺で甲殻類や魚など、川の生きものを探して観察します。
7 / 25 (13 : 30 ~ 約 1 時間半) 中学生以上
鴨川ホテル水路集合・解散 参加費 : 50 円 定員 : 15 名

夏休み特別行事 「三原山縦断トレッキング」

上りは無線中継所から無線の道を通り山頂へ、下りは現在未定です。
7 / 26 (9 : 30 ~ 約 6 時間) 小学生以上（低学年は保護者同伴）【8 月にも開催します】
ビジターセンター集合・解散 参加費 : 500 円 定員 : 20 名

ビデオプログラム

10 : 00 ~ 八丈・海・生きものたち
11 : 00 ~ おじゃりやれ 八丈島
14 : 00 ~ おじゃりやれ 八丈島
15 : 00 ~ おじゃりやれ 八丈島
16 : 00 ~ 八丈・海・生きものたち
上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2009.7.1 第 98 号

開館時間 9 : 00 ~ 16 : 45 年中無休（入場無料）
〒100-1401
東京都八丈島八丈町大賀郷 2 8 4 3
電話 : 04996-2-4811 Fax : 04996-2-4888

編集後記

長い間、島に定着しなかった生きものが定着する要因はいったい何なのでしょう？最近ではテングチョウの他にスズミグモなどが島民になっています。島の人口は減っている分、他の生きものが入ってきてる？（高）